

貧酸素水塊速報 (2021年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和3年6月29日観測結果

荒天のため、湾奥部のみの調査です。貧酸素水塊は広くみられ、羽田沖及び湾奥中央においては、貧酸素水塊の厚みが4mありました(図1,2)。

27日から北寄りの風が続いているため、貧酸素水塊が湾奥に移動しました。

今後も北寄りの風が続く予報のため、青潮に注意が必要です。

水温は表層21~23℃、底層18~21℃でした。

※内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

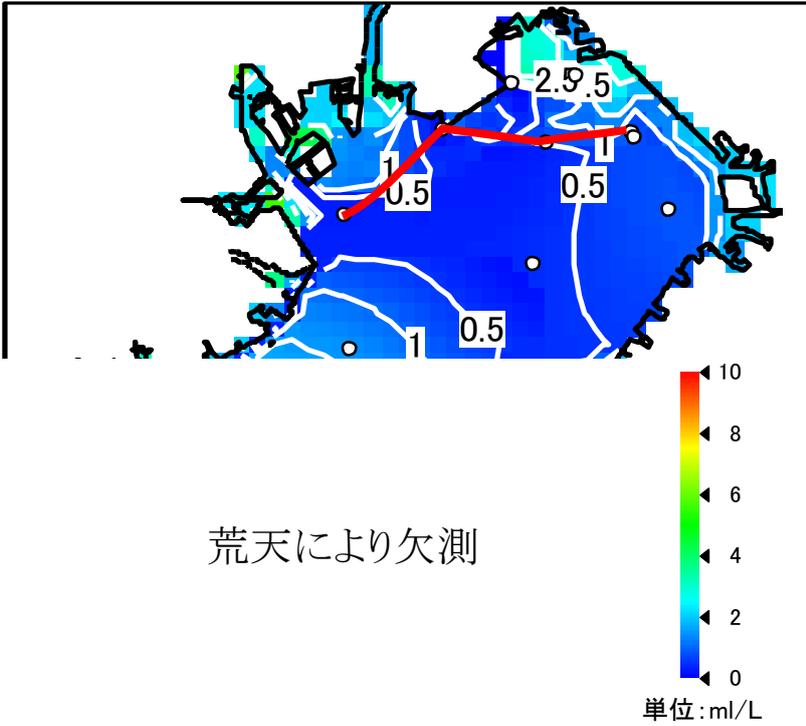


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線が横断ライン)

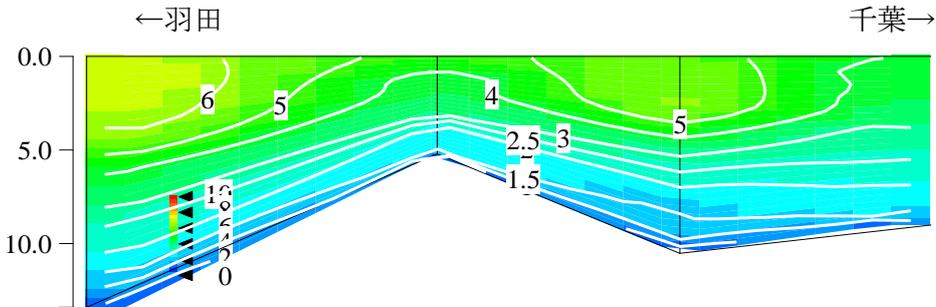


図2 横断ラインでのDO鉛直分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	